

令和2年笛吹市議会第2回定例会の告示に伴う市長定例記者会見質疑応答

■記者

教育費の児童生徒用端末整備事業に4億7,422万円計上していますが、端末を何校何台分整備するのでしょうか。

■教育部長

市内小中学校19校に4,235台の端末を整備します。なお、すでに689台の端末については、整備済みです。

■記者

児童生徒用端末整備事業において整備する端末を利用したオンライン授業を予定していますでしょうか。また、予定しているのであれば、オンライン授業の中身は、どの程度準備が進んでいますでしょうか。

■教育部長

端末の整備自体が、年度内を目指しており、中身についても現在準備を進めている状況です。

■記者

児童生徒用端末整備事業において整備する端末は、県との共同調達で購入するとのことでしたが、なぜ、県との共同調達にする必要があるのでしょうか。

■教育部長

全国的な事業であり、県を単位とし共同調達することで、安く購入できるためです。

■記者

児童生徒用端末整備事業で整備した端末は、家庭に持ち帰り使用するようなことも検討しているのでしょうか。

■教育部長

学校でのオンライン学習に使用する予定です。学校の臨時休業など非常事態時に家庭で使用するについては、現在、検討している段階であり、明確なことを申し上げることができません。

■記者

春に予定していた小中学校の修学旅行を秋に延期したかと思いますが、冬に延期することを検討していますか。

■教育部長

修学旅行については、秋以降に実施を予定しております。児童生徒数が多い大規模校については、12月ごろに予定を伸ばしたところもあり、秋に一斉に実施する予定ではありません。冬期を含め、秋以降に実施する予定です。

■市長

市においては、春に予定していた小中学校の修学旅行を秋以降に延期しました。しかし、全国的にも修学旅行を秋に延期しており、秋に修学旅行が集中する見込みのため、市内小中学校が同じ時期に一斉に実施するという考えではなく、秋以降に実施する予定です。授業日程も大変厳しい状況ではありますが、子どもたちに最後の思い出作りをしてほしいと考えており、学校も実施に向けて一生懸命に調整しております。

■記者

今年度の予算において、学校プール民間活用モデル事業として、学校のプール授業をブルーアースで行う事業が盛り込まれていましたが、実施するのでしょうか。

■教育部長

新型コロナウイルス感染症対策のため、中止となりました。また、学校でのプール事業も併せて中止となりました。

■記者

笛吹市独自の事業として笛吹市宿泊料金割引事業を計画され、実施は延期されていましたが、いつ再開するのでしょうか。

■市長

6月19日から山梨、静岡、長野の3県限定で始める予定です。

なお7月中旬から第2ステップの期限になるので、その時の状況を踏まえフルオープンをしていきたいと考えています。現時点ではエリアを区切り2段階の構えで実施させていただく予定です。

■記者

1年ほど前に、市長が、ラーホーに次ぐ新商品を検討していると話しておりましたが、その後の状況を教えてください。

■市長

すでに商品としてありますが、諸事情により今現在ストップしている状況です。とても美味しい商品なので、問題が解決したら進めて行く予定です。

■記者

現在、工事中の市役所本館駐車場は、いつ頃完成しますか。また、工事前に比べてどのくらい駐車台数が増えるのでしょうか。

■総務部長

6月30日に竣工となる予定です。また、駐車台数は、工事前より25台増えることとなります。

■記者

定額給付金について、申請件数と給付済み件数を教えてください。

■企画課長

定額給付金の対象件数は、約3万件あり、申請件数は本日時点で約2万3700件です。給付済み件数は2万1455件であり、全体の約70%が処理済みとなっています。

■記者

観光分野および農業分野に新型コロナウイルスの影響が出ていますでしょうか。

■市長

ホテルや飲食店は、皆さんご存じのとおり3月から休んでおり非常に厳しい状況です。特にホテルは、首都圏からの旅行者が中心ですので、自粛が長引くと正直厳しいです。

農業分野については、せん孔細菌病が一番気になる場所であり、先日も対策本部において報告を聞いていると若干は出ているようです。防除対策をして1年で治まるとは考えていませんので冷静に対応しております。

農産物販売等への新型コロナウイルスによる影響については、まだ、表に出てきていないので、まだ分かりませんが、景気に左右されるため、多少は影響が出るのではないかと思います。

■記者

せん孔細菌病の封じ込めはできているのでしょうか。

■市長

せん孔細菌病については、絶対とは言えませんが、しっかりとした取り組みをしているので、それなりの成果がでると思います。

■記者

先ほど笛吹市宿泊料金割引事業を再開するという話がありましたが、この事業以外に観光分野で旅行者へのおもてなし事業等を予定していますでしょうか。

■市長

笛吹市宿泊料金割引事業もまだまだこれからです。国の方もGOTOトラベル事業を進めるなど、国や県が、新しい制度をどんどん出してきていますので、市としては、そうした動向を見極めながら、また、観光関係者の意見を聴きながら事業を考えていこうと思っています。

■市長

私からお話をさせていただきます。昨年、ふるさと納税が約2億5,000万円ほどでしたが、今年度は5億円を目標に取り組み、順調にふるさと納税額が増えています。

好調の理由は、今、シャインマスカットが大人気で、これまでは、糖度センサーを導入し品質に定評がある農協を中心に返礼品をお願いしていましたが、農協以外の民間事業者も参入してもらい返礼品が増えたことからものすごく予約が入りました。おかげさまで、ふるさと納税ポータルサイトの最大手である「ふるさとチョイス」において、6月1日から3日までの3日間、すべてのカテゴリで笛吹市のシャインマスカットが全国1位になりました。ただ、ランキングは日々入れ替わりますので、現在は2位になっています。詳しい話しは、ふるさと納税担当に聞いていただければと思います。

以上

※注意 言葉遣いや明らかな言い間違い、言い直しがあったものなどを整理した上で掲載しています。